

めでやっぺ!

～出会い100選～ その12 西山 栄さん

いわき玉露の応急仮設住宅内集會場で、西山栄さんにお会いしました。西山栄さんといえば「写真」…今回も富岡町から持ってきた写真集を何冊も見せていただきました。20歳の頃から始めたという写真は、今やライフワークとなっていて、日本写真連盟に所属し、双葉支部は結成されてから33年目になるということです。毎年秋に写真展を開いていました。また、昨年は震災のため開催できませんでしたが、毎年続けていた撮影会は今も続いています。震災後は、一年間ほど県外に避難していましたが「帰りたい!」という思いで、今年の4月にいわきにきました。その後、やっと落ち着いて写真も撮る気になれたそうです。現在は、仮設のカフェや体操教室などの時に撮影し、写っている方に差し上げています。「ありがとう」と喜んでいただくと、それが何よりも嬉しいとのこと。「祭り」を撮ることが好きだという西山さん、富岡町での好きだった撮影場所を懐かしそうに教えてくださいました。「麓山の火祭り」「夜ノ森の桜とヨサコイ」「宝泉寺の桜」穏やかな口調の中に、一つのことを自分で学びながら習得していき、それが人生の宝になっている西山さんの「強さ」を感じるひとときでした。お会いした玉露の集會場の入り口には、西山さんの桜の写真が、町民の皆さんを迎えるように飾られていました。



西山 栄さん

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

11月下旬
12月中旬

仮ちっちゃな、ちっちゃな「えびず講市」

日時 11月25日(日) 11時～16時(予定)
開催場所 富田応急仮設住宅敷地内
内容 普天間かおりライブ、飲食、足湯など
*皆さん是非ご参加下さい。

喫茶つづじ

おだがいさまセンター 南1丁目応急仮設集會所
11月22日、24日、29日、(富岡側)
12月1日、6日、8日、13日 11月24日、26日、27日
(毎回午前10時～12時) 12月1日、4日、8日、10日、11日
(毎回午前10時～午後1時)

*12月1日(土)は、餅つきも予定しておりますが、変更される場合があります。
*沢山の方のご利用をお待ちしております。

スタッフ紹介 石田 高治

この度、11月からおだがいさまセンターに勤務することになりました、石田です。富岡町の住民の方々へ、少しでも笑顔になれる時間を増やしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



おらほの自治会長

このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。熊耳応急仮設住宅自治会長：松本 政喜さん



松本 政喜さん

富岡では小浜にお住まいで、双葉広域市町村圏組合に35年勤務し、平成20年退職後小浜行政区分長となり、現在も町の副区長会長の任に就いています。

自治会長を引き受けるきっかけをうかがうと「消防署と一緒に働いた若い部下たちが、震災後警戒区域に入り捜索に入ったりする姿に自分も何かしなくてはと思った。」「自分の一番の財産は消防署と一緒に働いた部下たちだ」と熱く語っていただきました。

熊耳仮設の集會所で「この一年自分のこと考えたことあったかな…」と話される顔は、まだまだこれから…という町民の生活を思い、決して晴れやかではありませんし

た。「もう今は自治会長が何かやる時ではない。皆、各々自分の生活を始めていて、いろいろな活動をしているから…」ようやく「自治」活動が始まったことをどこか嬉しそうに話してくれました。昨年7月から仮設の様々な問題に対して時には、行政に意見をぶつけながらも解決してきた道のりがあったからこそ…そんな時間を思いださせるお話でした。

全国の皆さんに一言とお願いすると「一日も早く小浜の皆さんと富岡で再開できることを楽しみにしています。」と笑顔で話してくださいました。大好きな釣りも今は封印状態。松本さんが鮎を釣る姿が早くみられますように!!

みんなの広場

このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品などの作品を紹介します♪

いわき市泉玉露応急仮設住宅集會所で、絵手紙教室が行われています。仮設にお住いの方々と、月に2回ほど行っています。草花を題材に描くことも多く、参加者の皆さんは、以前より、身の回りの草花にも興味をもち散歩の際など観察するようになったとお話されています。みなさん毎月の教室を楽しみにされているとのことでした。

泉玉露 絵手紙教室



素敵な作品です



絵手紙を楽しむ皆さん

第8回被災者支援連絡協議会



富岡町被災者支援連絡協議会の様子

10月24日(水)、おだがいさまセンターで第8回被災者支援連絡協議会が開催されました。この連絡協議会は、富岡町総務課長を協議会長とし、富岡町の被災者支援に関わる団体が一堂に会し毎月情報の共有や、住民支援の課題解決へ向けた話し合い、研修等を行っています。

この日は、始めに菅野利行総務課長補佐よりあいさつがあり、各団体から報告がありました。先々月の被災者支援連絡協議会の中で、課題としてあげられ

た項目について、的確と思われる団体が課題を各部署に持ち帰り話し合った回答を発表してもらいました。簡単に回答できる課題ばかりではなく、また、一つの課題に複数の団体関わっていることも明確になり、ますます連携の大切さがはっきりしました。今後も、この問題点を振り返り話し合いをもちながら、各機関と連携し、町民の皆さんのより良い支援へつながるようにしていきたいと考えています。

中越地震8年イベント視察

2004年に発生した新潟県中越地震のことを覚えてますか?あれから8年。中越では地震を契機として、地域をよくしようと、地域に根ざした団体が数多く発足しています。その中でも積極的に活動している住民団体と、東北の被災地の団体が参加し、復興祈念トークセッションが開催され参加してきました。

岩手・宮城・長野の団体はじめ、同じ福島県では、いわきの勿来地区から、なこそ復興プロジェクトが参加していました。岩手、宮城は、まちづくりが進み、復興に向けた動きがたくさん見られましたが、福島はやはり他とは違うのだと実感すると同時に、希望ある未来に向けて、一步一步進んでいくことが大切であると感じました。

状況は違いますが、中越には復興に向けた多くのヒントがあります。詳しいことを知りたい方は、センターまでご連絡下さい。



復興祈念トークセッションの様子

さくら会富岡in柏崎 矢内さんの発表



第3回 生涯学習講座 会津の美術館・博物館めぐり

福島県生涯学習課の「被災者への学びの支援」事業として、第3回目の富岡町生涯学習講座が10月19日(金)に行われました。先着30名の募集でしたが、募集開始後三日目で定員になってしまいました。今回のテーマは、会津にある美術館や博物館を巡り、さらには会津の郷土料理賞味を入れた「会津に伝わる福島の文化」を探るものでした。北塩原村にある諸橋美術館では、「ダリ」の絵画や彫刻、「シャガール」や「ルノアール」の絵画を鑑賞し、会津若松市内にある博物館では企画展「会津の寺宝」を鑑賞し、彩色鮮やかな刺繍による釈迦涅槃像に思わず息をのんで見入ってしまいました。何よりも秋真っ盛りの会津路。磐梯山が秋空にクッキ



参加者と磐梯山をバックに

りと映え、紅葉はちょうど始まったばかり...帰路立ち寄った猪苗代湖畔の「ガラス館」「お菓子館」「地ビール館」も「学びの仕上げ」として加わり、参加者は解散時に「次も教えてね。」「今度は泊まりで...」と口々にスタッフに声をかけてバスを降りました。



山古志の錦鯉ストラップ作り

まけないぞうサミット

阪神淡路大

震災の祭、復興のシンボルとして「まけないぞう～」が制作されました。それが中越へと伝えられ、そして、東日本大震災後には、神戸や中越などから東北の被災各地へと引き継がれました。11月18日(木)・19日(金)新潟県長岡市山古志で「まけないぞうサミット」が神戸、中越、東北の各地からまけないぞう制作団体や手芸制作団体が参加し開催されました。昨年の6月に今回の主催者である山古志の「かたくり」の皆さんが郡山市にある「ビッグパレット」で「まけないぞう」作りを教えてくださいました。それがきっかけで、今はいわき泉玉露仮設住宅の皆さんの手で「さくらさかせるぞう」として制作されています。今回のサミットには、「富田編み物の会」の代表2名といわき泉玉露の「さくらさかせるぞう制作グループ」の代理としておだがいさまセンター職員が参加しました。各団体の活動報告や課題などを話し合い充実した会となりました。制作、販売などを通して「やる気」と「生きがい」を持つ事の大切さをあらためて感じた会でもありました。



あーさむちい!!

いわき平交流サロンで足湯

10月28日(日)「富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン」でFUKUSHIMA足湯隊による足湯が行われました。この日のサロン訪問者は6名、足湯を初めて体験された方は足湯隊の学生との会話やボカボカと身体が温まってく気持ち良さを楽しんでいました。秋も深まり朝晩冷え込んできた今日このごろ、足湯で気持ちも身体もボカボカしていただくため足湯隊はこれからも皆さんの所にお邪魔させていただきます。お近くに行った際は是非、遊びにきて下さい。また、「おだがいさまセンター」ではいわき平交流サロンでもサロンのスタッフと共にいわき市に避難されている町民の皆様に楽しい催事をしていきたいと考えていますのでぜひご参加下さい。

中国伝統芸能・龍舞披露!!



ゆるキャラ2011王者

震災当時の話を熱心に聴く高校生

演舞に拍手喝采

10月27日、28日の両日に渡り郡山と会津若松で開催された「地域伝統芸能全国大会 福島大会 ふるさと祭り2012」に出演した神戸市立兵庫高等学校の龍舞団の皆さんが10月28日(日)におだがいさまセンターを訪れ、龍舞を披露して下さいました。集まった住民の方々は、太鼓の大きな音と共に幸せを招くという迫力ある龍舞の踊りを間近で見て、とても感激し喜んでいました。また、熊本県のご当地キャラ「くまモン」も高校生達に負けじと体操を披露しました。演舞後は、短い時間ではありましたが、住民の皆さんと高校生とで話す場を設け交流を深めました。

FM便り ~お世話になりました~



吉田 豊

昨年の11月におだがいさまセンターに入って、今年4月からは「みでやっべ!」の編集や「おだがいさまFM」の放送に携わるなど、様々なことを経験させていただきました。取材を通してみなさんから聞かせていただいたお話は、今や自分の最高の宝物になっています。この度、富岡町役場の職員として採用が決まり11月1日から生活支援課に勤務することになりました。職場は変わってしまいますが、富岡のみなさんのために全身全霊力を尽くしていきます。今後ともよろしくお願い致します。

「おだがいさわやかモーニング」パーソナリティー変更について
水曜日担当 吉田豊から ▶ 水曜日担当 青木淑子に

メッセージ等受付中!

郵便 〒963-8041 郡山市富岡町若宮前32「おだがいさまFM」宛
FAX 024-935-3334
メール 下記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください
「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

ave・竹原ピストルミニライブ

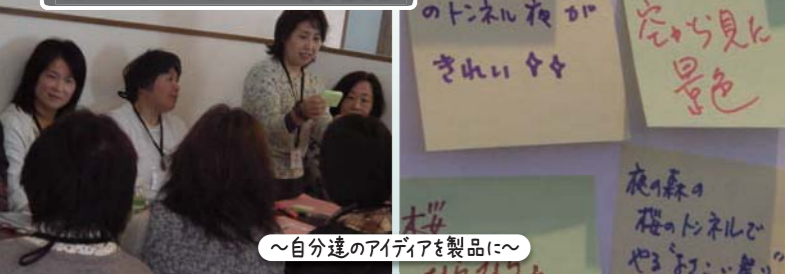


トークも楽しい竹原ピストルさん

aveさん熱唱

10月16日(火)、おだがいさまセンターで「福の歌」でお馴染みの「ave」と全国各地でライブ活動を行う「竹原ピストル」さんによるミニライブが行われました。心に直接響くようなお二人の歌声とギターの色に、集まった住民のみなさんは手拍子をするなど、身体全体で音楽を楽しんでいる様子でした。「おだがいさまセンターでまたライブをしたい」とお二人ともお話しされていました。次回の開催が決まった時には「みでやっべ!」でお知らせしますのでお楽しみに♪

おだがいさま工房便り



~自分達のアイデアを製品に~

10月24日に、今後どのようなものを作り販売していきたいか、意見を出しあうワークショップを開きました。併せて、製品に富岡らしさを加えるため、富岡の好きなところを聞いたところ、それぞれの想いをのせた、ふるさと富岡への想いや風景・色などが次々と出されました。ワークショップを終えた研修生からは「皆で思いを一つにして進んで行きたいと改めて決心した。」という感想がありました。

おだがいさまファーム通信



畑隊のみなさんの努力の結晶です♪

秋野菜、順調に育っています!!たくさんのお日様と、たっぷりの栄養をもらって、秋収穫の野菜がぐんぐん大きくなっています。大根、白菜、ねぎ、葉物、間もなく野菜の収穫時期を迎えます。楽しみです。畑隊メンバー募集しています。初心者、経験者大歓迎です。みなさんと楽しく畑を作りましょう!! (おだがいさまセンター担当: 遠藤、松本、梅津 TEL 024-935-3332)

富岡からそば打ち応援部隊出動!!



そば打ちにみんな注目

おいしくなっています



色とりどりのお料理おいしそう!!

10月28日(日)郡山市湖南町少年湖畔の村で「湖南郷土食べつくし収穫祭」が開催されました。昨年に続き、主催の「ぐるっと湖南・伝承会」より誘いをいただき、富岡・川内からも40名程の方が参加されました。

昨年同様、富岡からもそば打ち名人の渡辺鉄男さん(中央行政区)・坂本仁さん(仲町行政区)が、そば打ちの応援に駆けつけ、約100食程のそばを打ちました。湖南の郷土料理が色とりどりにたくさんテーブルに並び、参加した方は「どの料理もおいしい!!」と料理やおそばを、おかわりして食べていました。食事の後には抽選会も行われ、湖南の野菜や、マフラー等の手作りの景品をいただきました。秋雨の降る気温の低い寒い日でしたが、参加した皆さんは、湖南町の方々のおもてなしに、おなかも心も温かくなりました。